

関係人口の創出に資するロングトレイルの活用について

大きなポテンシャルがあるロングトレイル

長距離自然歩道をはじめとするロングトレイルは、これまで十分に利活用がされてこなかったが、コロナ後のアクティビティとして、熊野古道やお遍路に加え、**東北の「みちのく潮風トレイル」に海外から注目が集まっている**※。

※この数ヶ月間にニューヨークタイムズ、ウォールストリートジャーナル等の海外有名メディアが報道し、英紙The TIMESは日本で訪れるべき場所14選の4番目に選出。

ロングトレイルは、国内外で関心が高まる**アドベンチャートラベルの優良事例**として、**関係人口の創出**や**地域への経済効果**も期待でき、**大きなポテンシャルのある「眠れる地域自然観光資源」**とも呼べるもの。

2024年はロングトレイルのメモリアルイヤー

- ・みちのく潮風トレイルの開通5周年（2024年6月）
- ・長距離自然歩道の第一号である**東海自然歩道**の開通50周年（2024年7月）等



東海自然歩道をはじめロングトレイルの利活用を促進

この機会を捉え、**自然・歴史・文化とのふれあいの推進だけでなく、地域活性化、健康増進やウェルビーイングにも資する**ロングトレイルのうち、まずは大都市圏に近い**東海自然歩道**について、**国・沿線自治体・民間企業や関係団体・ハイクー等が一体となって、利活用の促進と管理運営体制の構築**を図る(**東海自然歩道リバイバルプラン**)。さらに、**他のロングトレイルへの拡大**を通じて、**人間性の回復**や「**長く歩く旅**」の浸透を目指す。

利活用の促進

- 6/8 みちのく潮風トレイル 5周年記念式典（岩手県宮古市）
※5月-11月に青森・岩手・宮城・福島の沿線4県でウォーキングイベントを開催
- 7/13 東海自然歩道50周年記念式典（日比谷）
- 9/3 ロングトレイルミーティング2024（大手町）※読売新聞主催、環境省共催
- その他、利用人数の把握、マップ作成、英語表記の充実、内外への情報発信等

管理運営体制の構築

- ・沿線都府県・市町村の巻き込み
- ・自治体や民間団体主体による管理運営体制の構築
- ・企業によるサポーターズ制度の創設
- ・基本計画等の策定、一元的な利用情報の集約 等

(参考) 長距離自然歩道の概要

- **全国10路線、総延長約28,000kmに及ぶ歩道網。**国が計画を策定し、都道府県が整備・管理（国立公園内等は国も実施）。自治体が整備を行う場合には自然環境整備交付金の対象となる。
- **1969年に当時の厚生省国立公園部が、東京～大阪をつなぐ歩道「東海自然歩道」の構想を発表。**1971年発足の環境庁に引き継がれ、**1974年7月に完成。**その後、九州自然歩道(1980年度)、中国自然歩道(1982年度)と続き、2019年に10本目の東北太平洋岸自然歩道（みちのく潮風トレイル）が完成。
- **国土を縦断・横断・循環する自然歩道で、四季を通じて手軽に楽しく安全に、優れた風景地などを歩くことによって、沿線の豊かな自然・歴史・文化にふれあうとともに、健全な心身の育成を図るもの。**

名称	愛称	整備年度	路線延長
北海道自然歩道		H15～	4,600km
東北自然歩道	新奥の細道	H2～8	4,369km
東北太平洋岸自然歩道	みちのく潮風トレイル(MCT)	H24～R1	1,025km
首都圏自然歩道	関東ふれあいのみち	S57～63	1,797km
東海自然歩道		S45～49	1,748km
中部北陸自然歩道		H7～12	4,092km
近畿自然歩道		H9～15	3,292km
中国自然歩道		S52～57	2,295km
四国自然歩道	四国のみち	S56～H1	1,645km
九州自然歩道	やまびこさん	S50～55	2,932km



(参考) みちのく潮風トレイルの概要

- **環境省は、東日本大震災後、持続可能な地域づくりを目指すとともに豊かな自然と地域の暮らしを未来に引き継ぐため、「グリーン復興プロジェクト」を策定し、その取組の一つとして、青森県八戸市から福島県相馬市までの4県29市町村※にまたがる太平洋沿岸を一本の道で繋ぐ「みちのく潮風トレイル」の設定を進めてきた。※開通時は28市町村**
- 路線は既存の歩道や車道等を活用し、地元の意見を伺いながら設定。
- 標識、情報提供施設など利用のための整備を進め、自然風景、集落、観光スポット等を徒歩でつなぐことにより、地域の観光業・農林水産業を活性化し、復興に貢献することがねらい。
- 2019年4月に、ハイカーの拠点となる「名取トレイルセンター」がオープン。みちのく潮風トレイルの全線の統括本部として、路線管理、情報発信等を実施。
- **2019年6月9日をもって全区間が開通し、全長1,025kmに及ぶみちのく潮風トレイルの全線の設定が完了。2021年10月に全線の標識整備が完了。**



(参考) 東海自然歩道の概要

- ・我が国最初の長距離自然歩道。
- ・東京都八王子市の「明治の森高尾国定公園」から大阪府箕面市「明治の森箕面国定公園」までの太平洋ベルト地帯の背後（**現在11都府県60市町村**）を結ぶ、**総延長1,748km**に及ぶトレイル。1974年（昭和49年）7月に完成。緑豊かな自然と貴重な歴史文化財を訪ねながら、心身の健康と安らぎを得るための場として整備された。
- ・東海自然歩道構想の背景には、高度経済成長期の国土の急激な都市化、モータリゼーションの進行等に起因する社会的課題があった（「**人間性の回復**」「**歩くことの復権**」）。また、当該歩道を軸線として利用性の高い国定公園を帯状に配置することにより、都市のスプロール化に対する**自然保護の防波堤**の機能を目指すとした。
- ・沿線の市町村や関係団体による連絡会、**東海自然歩道連絡協会**が1989年に設立。（現在の加盟数は52団体）



東海自然歩道

[東海自然歩道について](#)
[コース一覧](#)
[観光スポット](#)
[参加団体](#)
[お問い合わせ](#)

お電話でのお問い合わせは、各都府県の自治体および関連施設へお願いします。

地図情報のお問い合わせ先 >>

自然を感じ、四季を感じ、ただそこにある草木や風と共に、足を踏み出す楽しさを与えてくれる。
あなたの身近な場所から自然歩道を散策してみませんか。

大阪 Osaka	京都 Kyoto	奈良 Nara	滋賀 Shiga	三重 Mie	岐阜 Gifu	愛知 Aichi	静岡 Shizuoka	山梨 Yamanashi	神奈川 Kanagawa	東京 Tokyo
-------------	-------------	------------	-------------	-----------	------------	-------------	----------------	-----------------	-----------------	-------------

東海自然歩道について

東海自然歩道コース

観光スポット

2024年の長距離自然歩道・ロングトレイル関連イベント（予定）



- 2月24日（土） 東海自然歩道全線調査報告会（名古屋市） ※トレイルブレイズハイキング研究所主催
- 3月19日（火）** **環境省による一連のイベントの公表（環境大臣会見＋報道発表）**
- 4月17日（水） 観光立国推進閣僚会議（全閣僚がメンバーの会議で環境大臣からロングトレイルの活用を発言）
- 5月～11月 みちのく潮風トレイル沿線イベント（5/26八戸市、6/9宮古市、6/23名取市、11/3相馬市）
- 6月8日（土）** **みちのく潮風トレイル5周年記念式典（宮古市）**
- 7月13日（土） AM 東海自然歩道連絡協会 総会（日比谷周辺）
- 7月13日（土） PM 東海自然歩道50周年記念式典（日比谷）** ※環境省、東海自然歩道連絡協会主催
- 7月23～8月18日 新宿御苑アートギャラリーにおける展示
- 8月11日（日） 山の日記念全国大会（八王子市） ※第8回山の日全国大会実行委員会主催
- 9月3日（火）** **ロングトレイルミーティング2024（よみうり大手町ホール）** ※読売新聞主催・環境省共催
- 秋～冬 関係自治体、民間企業等による参加型の利用促進イベント等を開催
- 八戸十和田トレイル（仮称）試験運用開始

2024年は長距離自然歩道と
ロングトレイルのまたとない
メモリアルイヤー